

(第五部 聖地巡礼)

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策 SJ

49

第十五幕

エルサレム 1523年9月4日

登場人物：巡礼者 イニゴ

ディエゴ・マニェス：聖ヨハネ騎士団の司令官

スペイン人司祭

ピエール・フスリ

フランシスコ会修道士 聖地の案内担当者

【語り】 間もなくエルサレムが見える地点にまで近づいた時、マニェス司令官の提案に従って、巡礼者一同は沈黙し、潜心して祈りながら城門へと歩いていきました。

フランシスコ会修道士：さあ、エルサレムに着きました。これがヤッファ門です。ここから旧市街に入ります。ここから少し先に聖墳墓教会があり、そのすぐそばに皆さんの宿泊される聖ヨハネ病院があります。

イニゴ：聖墳墓教会はカルワリオの丘に建てられたのですね？

フランシスコ会修道士：そうです。明日ご案内します。

スペイン人司祭：主イエス・キリストが十字架にかけられて死に、三日目に復活された地に 遂に私たちは導かれました。

ディエゴ・マニェス：皆さん、神に感謝して、〈Te Deum〉を歌いましょう。神父様、先唱をお願いします。

スペイン人司祭; では皆さん、ご唱和ください。

Te Deum laudamus 神にまします御身をわれらたたえ、

Te Dominum confitemur. 主にまします御身を讃美し奉る。

一同 : Te aeternum Patrem 永遠の父よ、

omnis terra veneratur. 全地は御身を拝みまつる。

Tibi omnes angeli; なべての御使いら、

Tibi caeli et universae potestates; すべて御国の民、よろずの力ある者、

Tibi Cherubim et Seraphim ケルビムも、セラフィムも、絶間なく

incesabili voce proclamant: 声高らかに御身がほぎ歌をうたいまつる。

Sanctus: Sanctus: Sanctus 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、

Dominus Deus Sabaoth. 万軍の天主、

Pleni sunt caeli et terra 天も地も、

majestatis gloriae tuae. 御身の御稜威^{みいつ}と栄えに満てりと。

(中略)

Fiat misericordia Tua, Domine, super nos, 御あわれみをたれ給え。主よ。

Quemadmodum speravimus in Te, 御身に依り頼みしわれらに。

In Te Domine, speravi: 主よ、われ御身に依り頼みたり

non confundar in aeternum. わが望みはとこしえに空しからまじ。

イニゴ：（こころの中で）主なる神よ、ついに聖なるみやこエルサレムに着きました。貴方が必ず、どんな困難や妨げがあってもそれを乗り越えさせて、ここに私を導いてくださることを信じていました。あなたにおいた希望が空しく終わるようなことはとこしえにありません。

9月5日（土）

フランシスコ会修道士：お早うございます。昨夜はよく眠れましたか？今日はエルサレムにのこされた主のみ跡を慕って歩みましょう。先ずシオンの丘へ行きます。

（巡礼者一同は主の歩まれた道を細かいところまで記憶にとどめようと、注意深くあたりを見回しながら静かに歩いていく）

フランシスコ会修道士：ここがダビデの町とも呼ばれたシオンの丘です。最後の晩餐の行われた高間は正面の建物の2階にあります。

イニゴ：（独り言を言うように）ここで主イエスは使徒たちの足をお洗いになったのですね！なんという^{へりくだ}遜りでしょう！

司祭： 弟子たちとの最後の晩餐において主イエスは史上最初のミサをお捧げになり、ご聖体を制定なさいました。私たちを生かすために、ご自分のお体を食べ物として私たちにくださったのですね！

イニゴ： 私たちを愛するあまり、人間の食べ物なること（食べ物にされること）さえ^{いと}厭われなかったのですね！

フスリ：ビザンティン時代に建て直された跡がありますね。床のここの部分はビザンティン時代のものでしょう。

【語り】フランシスコ会の案内者は、巡礼者たちを聖母マリアの永眠教会、大祭司カヤファの屋敷跡に建てられた（鶏鳴）教会、主イエスが鞭打たれた場所などに案内しました。この日最後の巡礼地は聖墳墓教会でした。